

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和4年度第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和5年2月21日（火）午後6時～午後7時30分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（6名） 諸橋泰樹、堀上みち子、森本秀子、市川真子、椎野芳挙、中村貴代 欠席者：（4名） 南葉子、鈴木友理、原田夏果、大槻紗笑 事務局：（2名） 協働推進課長、協働推進課係長
議 題	1 本市のセクシュアル・マイノリティに関する取組みについて 2 東京都パートナーシップ宣誓制度について 3 今後の事業展開について 4 第五次男女共同参画計画の策定について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1 原案のとおり決定する。 議題2 原案のとおり決定する。 議題3 原案のとおり決定する。 議題4 後日、事務局から各委員に意向を確認する。
審 議 経 過 (発信者) ◎印：委員長 ○印：副委員長 ●印：委員 □印：事務局	◎本日開催の委員会については、武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員6名が出席しているため、有効であることを報告する。 <u>議題1 本市のセクシュアル・マイノリティに関する取組みについて</u> □（事務局説明概要） 令和3年度は、職員を対象に、コラムによる意識醸成・研修・ハンドブック作成を中心に行った。令和4年度は、市民を対象に、セクシュアル・マイノリティ支援事業・市報コラム・イベント時のアンケート調査を中心に取り組んだ。 事務局では、アンケートの結果を踏まえ、理解促進や意識醸成への取り組みを継続していく考えである。 ◎市報コラムに対する反響はあるか。 □ない。どのような意見でも頂戴したいところではあるが、来年度は、関心を寄せていただけるよう、市報クイズとしてマイノリティやジェンダーについて取り上げたいと考えている。 ●市報コラム、職員ハンドブック、アンケート集計結果について、委員会で共有できるよう、今後、資料配布願いたい。 □了解した。 ●市報クイズは良い考えである。 ◎YOU Iの内容が、市の取組と連動しタイムリーである。 □アンケート内容についても、指定管理者と連携して実施した。 ●YOU Iは、サイズも色合いもとても良い。 ◎にじーずの事業は、報告として受けられるのか？ □どのようにお示しできるか不明であるが、お伝えしたいと考える。 ●職員ハンドブックを受け取った職員からの反響はあったか。

- 研修を動画として庁内システムで掲載した際のアンケートでは、日頃、「深く知ることができない内容の研修であったことから役立てる」「マイノリティを受け入れているが、強調されてしまうと、逆差別的にも感じてしまう」という内容の意見もあった。
- どのような意見であれ、意識を持ってもらうことが大事である。
- 若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業について市内の学校への周知後の反響は。
- 非常にデリケートな課題であるため、各施設にはチラシの配架のみを依頼しており、反響等は伺っていない。
- 市内での居場所づくりは行うのか。
- 若年層を対象としている本事業では、公共交通機関を利用することが想定されるため、アクセス評価を行っている。本市で実施した場合、評価は低いと考えるが、実施すること、そのような体制であることを伝えることが大事であるため、本市が主体となる居場所づくりを実施したいと思っている。今年度は昭和記念公園で屋外イベントを実施しており、本市も屋外で実施したいと考えている。複合施設であるふれあいセンターが雨天時の候補会場である。
- マイノリティが、自分の個性を隠さなければならない状況は良くない。
- 多様性を皆で認め合える社会にならなければならない。
- 小さい子どもからも、髪の長さだけで性別を認識した会話が聞こえる。
- 周囲の意識醸成や啓発の継続は必要である。

議題2 東京都パートナーシップ宣誓制度について

(委員からの意見)

- (事務局説明概要)
東京都の当該制度は、原則、オンラインでの手続きである。双方又はいずれか一方がセクシュアル・マイノリティであるお二人からパートナーシップ関係にあることの宣誓・届出があったことを東京都知事が証明するものである。今後、皆様には、本市に必要だと考えられる制度内容について議論をしていただき、東京都の制度と照らし合わせ、武蔵村山市オリジナルルールが必要か否かを協議し、令和6年度には、制度導入について、本委員会としての御意見を頂戴したいと考えている。
- ◎住宅入居や病院での説明等で、当事者は不便と不安を感じている。
今後、検証していくにあたり、他自治体の制度一覧があると良い。
- 令和5年度より、本格的な検討を行っていただくにあたり、用意する。
現在、都内3自治体が制度化に向けて動いていると聞いている。
- ◎条例で制度を作っている自治体はどこか。
- 都内では、港・渋谷・豊島・武蔵野・国立、東京都である。
国立市は少々異なるが、その他の区市は、男女共同を軸とする条例を根拠条例としている。
- 東京都が制度開始したことは、非常に大きい。
- ◎武蔵野市は、男女の事実婚も制度化している。また、和光市はファミリーシップ制度を有している。
- 選択制夫婦別姓にも着目しながら、来年度、議論いただきたい。
- ◎事務局からの説明どおり、令和5年度から、当該制度の具体的検討を開始することとする。

議題3 今後の事業展開について

- (事務局説明概要)
若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業の居場所づくりについて、

市内でも居場所を提供したいと考えている。屋内は、複数の貸室業務やフリースペースである図書コーナーを併設しているふれあいセンターで、屋外は、玉川上水駅近くの東大和南公園での開催を調整中である。教育事業は、今年度同様に、教育委員会と連携していく予定である。また、連携市では、4月22日・23日の東京レインボープライドに出展し、その取組みや啓発活動を行う予定である。

市報では、クイズ形式を用いた意識醸成を進める予定である。

●東大和市は連携していないのか。

□本事業は、多摩地域の有志自治体が参加している。参加については、各市の施策の推進状況等によって異なっていると考えている。4月からは、連携市が増えることも聞いている。

●連携市は、男女共同に積極的な自治体であるという印象がある。

□男女の条例、宣言、パートナーシップ制度のどれも有していない自治体は、現在のところ本市のみであるが、本市は、ルールを構築することより周囲の方の意識醸成が優先であると考えているところである。

●東大和南公園は、駐車場がないので、場所の選択として心配である。

□居場所づくりには、若年層の当事者としにじらずのスタッフのみが参加するため、送迎でいらした保護者のかたは、公園に留まることはない。

●東大和市とも連携できたら良い。

□公園が所在する東大和市にも、本件は連絡済である。

◎令和5年度の若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業について共有できた。

議題4 第五次男女共同参画計画の策定について

□（事務局説明概要）

令和2年度から6年度を計画期間とする第四次男女共同参画計画の次期計画となる、第五次計画を策定するため懇談会の構成員を務めていただきたい。本市民委員会ではパートナーシップ制度の検討とセクシュアル・マイノリティ事業について、懇談会では、第五次計画の策定について、それぞれ検討を進めていきたい。

それぞれの会議会場を別にするなどの工夫をする予定である。

今後、各委員に対し、御同意いただけるか否かをお伺いしたい。

◎二足の草鞋を履く…ということである。議会への説明は問題ないか。

□市民委員会の御意見を頂戴し、庁内推進委員に報告し、結論を市長に報告することになっている。懇談会は要綱による組織として新設する予定である。

◎市民委員会では、セクシュアル・マイノリティに関すること、懇談会では次期男女共同計画について検討することとなる。

□今後、各委員に対し、本日の会議録と共に、市民委員会と懇談会双方の役割や謝礼について説明し、御意向を伺い、その結果を委員長に御相談するということが良いか。行程のイメージは、令和6年度の上期には、ほぼ完成形を目指すことになる。

◎我々の任期が一度切れるということか。

●今の第四次計画と引き続いて第五次計画がはじまるという認識か。

□引続き、お力添えいただけることを願っている。

◎そのとおりである。

男女平等条例の検討は行うのか。

□検討の結果によっては、御提言をいただくことを想定している。

◎次期計画の策定にあたっては、第四次の評価を丁寧に行う必要がある。

	この議題に対する事務局案に問題ないとする。 第4回男女共同参画推進市民委員会を閉会する。
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []	傍聴者： _____ 0 人
-----------------	---	----------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 241)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)